

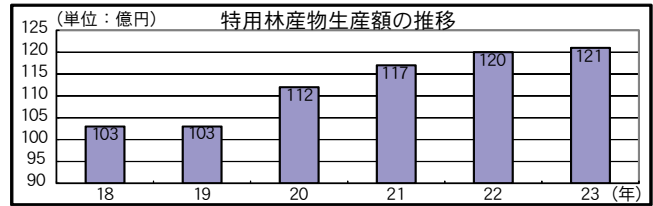
行政の窓



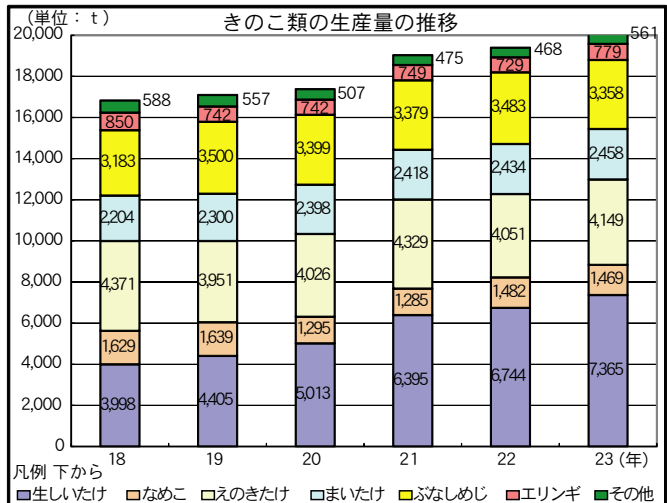
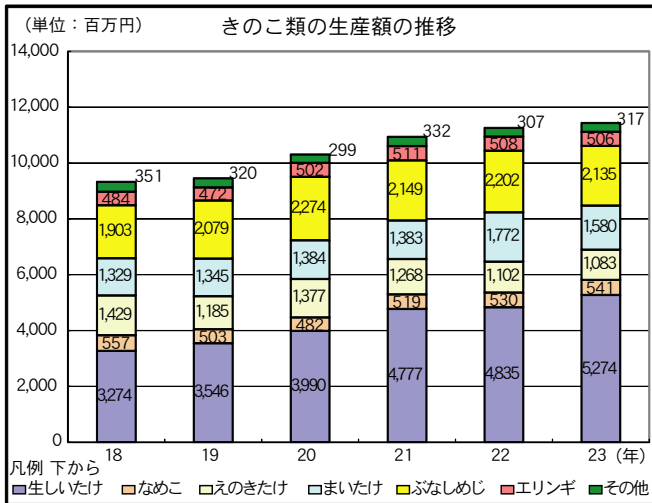
平成23年 特用林産統計について



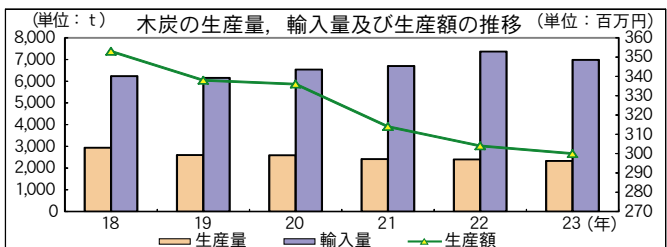
【特用林産物生産額】 道内での平成 23 年の特用林産物総生産額（推計）は、約 121 億円（対前年比 100.7%）となっています。



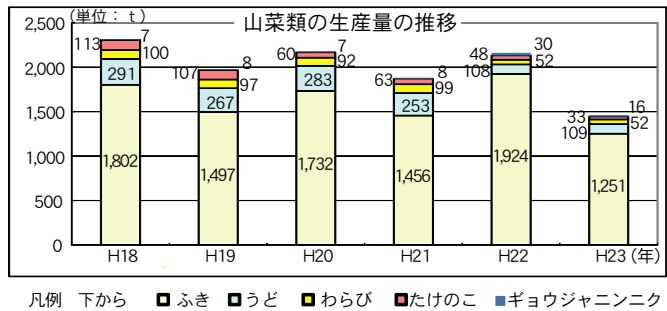
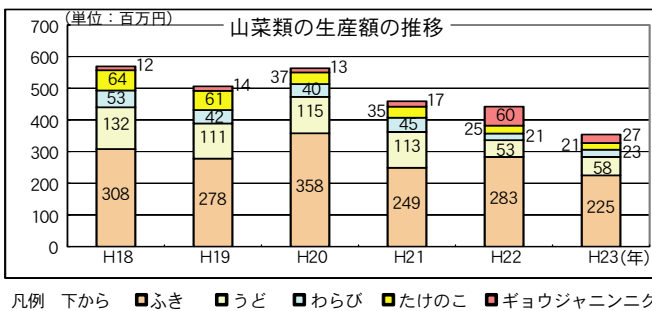
【きのこ類の生産動向】 平成 23 年の生産額（推計）は約 114 億円（対前年比 101.6%）、生産量は 20,139 t（同 103.9%）となっています。このうち、道内で最も生産者の多い「生しいたけ」は、原木、菌床あわせて生産額が約 53 億円（対前年比 109.1%）、生産量が 7,365 t（同 109.2%）となっており、栽培形態は、原木栽培から菌床栽培への移行が進んでいます。その他の主なきのこ生産量では、エリンギ 779 t（対前年比 106.8%）などが増加し、ぶなしめじ 3,358 t（対前年比 96.4%）などが減少しています。



【木炭の生産動向】 平成 23 年の生産額は 300 百万円（対前年比 98.7%）、生産量は 2,328 t（同 97.2%）となっています。また、輸入量は減少に転じ、平成 23 年は 6,983 t（対前年比 94.8%）となっています。



【主な山菜類の生産動向】 平成 23 年の生産額は 355 百万円（対前年比 80.3%）、生産量は 1,461 t（同 67.6%）となっています。道内における山菜類の生産は、天然物の採取が中心となっています。



(水産林務部林務局林業木材課 経営支援グループ)